

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆうきっず ぴあ			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～	令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～	令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム（個別課題や集団活動等）が固定されていない、ひとりひとりに必要な所を個別課題として取り組めるよう準備をしているところ。	保護者から要望があったことに関しては、すぐに個別課題に取り入れるよう意識している。いろいろな要望に答えられるよう、職員で意見を出し合い個別課題の作成をしている。集団活動は月で同じ活動が設定されないよう、事前に職員全員で確認するようにしている。	職員間で活動については共有できているが、内容や進め方といった詳細までは共有できていない所もある。朝のミーティングを使って、内容や進め方で確認したり、利用児童に合わせた提供の仕方を考えていきたい。
2	活動写真付きの連絡帳を通して、その日の児童の様子をわかりやすく伝えているところ。	活動内容だけでなく、取り組んでいる様子も伝えるようにしている。文字だけでは伝わらないところもある為、写真をつける事で、保護者の方が子どもがどのように過ごしているのかを想像しやすいよう工夫している。	連絡帳を通して子どもの様子を今まで通り伝える努力はしながらも、支援の質の向上の為、連絡帳のあり方を考えていく必要はあると感じている。連絡帳と子どもと関わる時間のバランスを図っていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やきょうだい児同士の交流の場、地域との交流の場を設けられていないところ。	保護者から「そのような場があれば助かる」という意見もあるが、「必要がないと思う」という意見も多く、現在事業所として場を設けることをしてこなかった。また、就業している保護者も多く、児童の受け入れ等もあり、時間を設定するのが難しい。	開催するとしたら、どのような準備が必要となるのかをまずは考えてみる。今後、希望する保護者が多かった場合に、実現可能かどうかを事前に検討することで、改善点等が明確になると思われる。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアルを整備し、避難訓練も実施しているが、実際に起きた場合の対応を想像すると、職員・保護者への周知は不十分だと思う。	マニュアルを整備し避難訓練は実施しているが、事業所内での訓練が殆どの為、実際に避難場所まで移動したり、保護者への引き渡し等も考えるとスムーズにはいかない事が想定される。	玄関までの訓練ではなく、その後移動することも考え、車内に乗り込むところ迄の訓練等も取り入れていく。また、保護者の方々の意見も聞きながら、引き渡し訓練が可能かどうかを検討することで、避難後の対応についても周知できるのではないかなと思う。
3	情報の発信、保護者との連絡手段等が書面、電話等が殆どで、アプリやライン等の連絡手段を使用していないところ。	学校の下校時間の変更等のお知らせが「マチコミ」での連絡が主になっていることから、手紙をプリントして用意してくれているご家庭も増えてきている。また、お休みの連絡等も電話でお願いしていることから、お仕事の時間と被ると連絡が抜けてしまうという事もあり、保護者の方々に負担をかけている部分があると感じている。	現在利用できる連絡手段として、メールもある事を保護者の方々に発信しつつ、新しいシステムやアプリ等の情報収集を行い、より良い連絡ツールがないか検討していきたいと思う。

事業所名 ゆうきっず ピあ

公表日 令和8年 3月 23日

利用兒童數

26

回收数

25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1			・限られたスペースを上手に工夫し、確保されていると感じます。 ・十分に確保されていると思います。 ・もっと広いとよりいいとは思いますが、座って遊ぶ事も好きなので。	活動に応じてテーブルを動かすことで、スペースを確保していけたらと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			3	・通所人数及び、人数に対して必要な職員数が不明な為。 ・人数はわかりませんが、適切であると思います。 ・時々足りぬような時もあるみたいですが、目は行き届いていると思います。	現在の職員数は、児童発達支援管理責任者1名、保育士3名、児童指導員2名となっております。職員の異動等があった際には、保護者の方々に伝えていきたいと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23			2	・特性に合わせて柔軟に対処していると感じます。 ・視覚的にわかりやすいと思います。あと鏡が好きなので大きな鏡いいです。	「視覚的支援がわかりやすい」というご意見を多数頂きました。今後も、子ども達がわかりやすい空間を作っていきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25				・とても綺麗で気持ちよく過ごせていると思います。活動に合わせた空間になっていると思います。 ・清潔だと思います。子ども達が掃除するのでもていまいです。	限られたスペースを工夫しながら、今後も子ども達が過ごしやすい環境を子ども達と一緒に整えていきたいと思っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				・興味のある事にすぐに気が付き、課題として取り組んで下せるそのスピードの早さにいつも感動しています。 ・ひとりひとりに寄り添ってその子にあった支援を提供してくれています。 ・苦手な事、得意な事をよくわかってもらえていると感じます。 ・活動場所などにこだわる時も、その都度対応してくれる。	その時々の子どもの様子をキャッチし、寄り添ったり、特性等を考慮した対応を続けていきたいと思っています。子ども達の興味を生かし、ひとりひとりにあった支援を今後も心がけていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1	・合っていると思います。	支援プログラムも見直ししながら、提供する支援内容にあったものを作成していきたいと思っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				・ニーズの把握がいつも的確で素晴らしいです。 ・とても丁寧に作成されていると思います。 ・その時の課題にしたい事をモニタリングで提案してくれ助かります。 ・苦手な事を楽しんで取り組めるような課題を設定してくれている。	保護者の方々からの情報提供や困り事、課題等のお話がとても助かっています。今後も子どもと保護者のニーズを取り入れながら、ひとりひとりにあった支援計画が作成できるよう心がけていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			2	・その子にあった適切な支援がしっかり設定されていると思います。 ・その時に必要な事を具体的に、無理なく、自立に向けた支援内容だと思います。 ・また何かで相談事があればお伝えしていきたいと思っています。	保護者の方々には、お忙しい中面談の時間を作って頂き感謝しております。面談でのお話から、その子の困っている事、強みになることのヒントを得て、支援内容を考えさせて頂いています。今後も一緒にお子様の事を考えていきたいと思っていますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25				・しっかり行われていると思います。 ・飽きないように工夫してやってくれていると思います。	ありがとうございます。今後も、計画に沿った課題設定を行い、支援していきたいと思っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1			・連絡帳を通じてとても様々な課題を行って下さっていると思います。 ・工夫されており、とてもいいと思います。 ・あまり連続しないように、工夫してくれていると思います。 ・色々な課題を設定してくれるので、本人も家族も飽きずにいられる。 ・今までやった事がない事を色々と経験し、刺激になっている。	ありがとうございます。今後も子ども達が楽しくいるような経験を積めるよう、活動内容を考えていきたいと思っています。子ども達の「やってみたい！ やってみよう！」を引き出せるよう工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	5	10	・難しいと思うのではなくても大丈夫です。 ・交流はないですが、慣れた人じゃないと嫌がるので…。	ご希望の声も殆どなく、今まで児童クラブや児童館との交流の機会は設けていませんでした。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				・丁寧に説明してくれています。	契約時にご説明させて頂いています。支援プログラムは、保護者の方々にお手紙で配布させて頂きました。
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25				・丁寧に説明してくれています。	面談の時に今後の支援について検討し、お話しさせて頂いています。計画もわかりやすいよう記載し、ご説明するようになっています。わからない点等ありましたら、お知らせ頂ければ幸いです。	
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	2	8	・研修会などはないですが、先生から有益な情報はもらえたりします。 ・多動や癇癪、特性に対する効果的な対処法、家族が接する上での心構え等の資料提供があると嬉しいです。 ・担当者会議を開き、情報提供をし合えた。	現在そのような機会は設けられていない状況でした。必要に応じて情報共有の場を設けたり、情報提供をしていきたいと思っています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1			・連絡帳にたくさん様子を書いていて見るのが楽しみです。 ・送迎時や連絡帳を通じて共有できていると感じます。 ・何かあった時に伝えてますが、常には伝えていない。 ・細かいこだわり等もしっかり把握してくれ助かっています。	連絡帳を楽しみにして下さり、ありがとうございます。連絡帳や送迎時にお伝えするようにしていますが、わからない事などありましたらご連絡ければ幸いです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2			・連絡帳や送迎時に助言を頂いています。 ・モニタリングでしっかりと話を聞いてくれる。 ・こちらの相談に対して、常と一緒に考え対策や支援をおこなってくれます。 ・定期的にはないかもしれませんが。 ・アドバイスを頂けたりして助かっています。	半年に1度面談をさせて頂いております。困り事がありましたら、ご家族で抱え込まず、気軽に相談して下さい。一緒に考えていきたいと思っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				・とても強く思います。 ・話を聞いてもらえるだけでも救われたりするので助かっています。	ありがとうございます。今後も、子ども達やそのご家族に寄り添った支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	3	8	12	・今のままで（なくても）大丈夫です。 ・兄弟がいなくてもわかりません。 ・そういう機会はないですが、共通の悩みや共感あったりできる事はプラスになるかなと思います。	保護者会やきょうだい同士の交流は、現在行っておりません。ご希望される意見、されない意見どちらもある為、皆様のご意見を踏まえながら検討させて頂きたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25				・相談等についてすぐに親身になって対応してくださいます。 ・適切に素早い対応をしてくれていると思います。 ・お迎え時や連絡帳で困り事を知らせた時に親身になってくれて助かっています。	ありがとうございます。今後も、ご相談やご要望には可能な限り迅速に対応したいと思っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25				・しっかりとされていると思います。 ・電話で話しを聞いてくれたこともあり嬉しかったです。	ありがとうございます。連絡帳や送迎の時に利用時の様子はお伝えしていますが、聞きたい事等ありましたらご連絡ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	2	7	・連絡帳で切り抜きの写真や出来事などいつも丁寧に書いています。 ・見て見た事がない。 ・ホームページやSNSはないですが、連絡帳や手紙でわかりやすいです。	昨年度のご意見を参考に、今年度から長期休暇中のイベントについては、利用確認のお手紙に記載させて頂きました。自己評価の結果は、保護者の方々にお手紙で配布しています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1	・しっかりとされていると思います。 ・不安に感じた事はありません。	今後も個人情報の取扱いについては十分に注意していきます。契約時に個人情報使用同意書について説明させて頂いています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21			3	・流行っている情報が入ると、その都度お手紙で連絡があります。 ・感染症流行期には手紙のお知らせが有難いです。	今年度はインフルエンザの流行で学級閉鎖等もあり、保護者の方々には感染症対策へのご協力をたくさん頂きありがとうございます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21			3	・定期的に行われています。 ・時々訓練のことも連絡帳に書いてるので実施していると思います。 ・本人もしっかり取り組めていて安心してます。	月に1回、地震、津波、火事、不審者を想定した訓練を順番に行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			3	・しっかりとされていると思います。 ・利用している子達も多いと思いますが、十分に確保して支援は行われていると思います。 ・外側の扉の鍵もつけてくれた事、良かったと思います。	3列シートの送迎車には置き去り防止装置を設置しています。車内に子どもが置き去りにならないよう、送迎後に車内の確認を行っています。風除室扉は防犯上施錠するのを継続していきたいと思っています。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24			1	・発生したことがないのでわかりません。 ・すぐに電話で保護者に連絡、説明があると思います。 ・ちょっとした怪我の時もすぐに教えて頂きました。対応は早いです。 ・些細な事もしっかりと直接説明してくれます。	体調不良や怪我をした際には、必要に応じてお電話で連絡させて頂いています。緊急でない場合は、送迎時にお伝えさせて頂いています。今後も迅速で丁寧な対応を心がけています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25				・学校へは不安等から通えない日もありますが、びあさんには安心して通うことができました。 ・活動中の写真の表情を見ると安心しているのが伝わる。 ・場所も人も安心感があるようです。	子ども達の「居場所」になりたいと思い、日々子ども達と過ごさせて頂いています。今回「安心して通っている」という意見をたくさん頂き嬉しく思います。今後も子ども達が安心して通所できるよう、職員一同努めさせて頂きます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25				・用事があった時も「ゆうきっずに行きたい!」と話し、自分で電話し質問しています。 ・とても楽しみにしており、笑顔をみせてくれます。 ・休みの日も行きたい、朝から行きたいとよく言っています。 ・行く曜日になるととても楽しみにしています。 ・連絡帳の写真を見て、先生の名前を言うてくる。 ・自分から「びあに行きー!」と言っていつも楽しみにしています。	ありがとうございます。子ども達が笑顔で通所してくれて本当に嬉しく思います。用事があっても、朝からでも行きたいと思って頂けている事、子ども達にとって「楽しい場所」になれているんだと感じ本当に嬉しいです。今後も、ゆうきっずびあに来ることを楽しみに思ってもらえるよう、活動内容の充実や支援の質の向上を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				・子どもの将来についても考えて頂き、大変感謝しています。 ・急なお休みや送迎時間の変更などをLINEやアプリ等で今後対応して下さいと助かるなと思います。 ・子ども、親指って満足しており、とても感謝しております。 ・とても丁寧で、プレゼントだったり細かな気配り等とても満足しています。 ・興味を持って課題に取り組めるように工夫していただけてとても満足している。	たくさんのご意見ありがとうございます。皆様からのご意見を拝見し、職員一同励みになりました。ゆうきっずびあでの療育活動へのご協力にも感謝しております。今後も、子ども達の居場所として、保護者の皆様・子ども達が安心して通所して頂けるよう努力していきます。アプリ等の対応については、私たちも感じていたところがあった為、今後検討していきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ゆうきっず びあ		令和8年 3月 23日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動内容によって、テーブルを動かしスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6			曜日によっては手薄に感じるときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	バリアフリーではない為、段差に色のついたテープを貼り、わかりやすくしている。クールダウンの際は個室を使っている。	クールダウンや音が苦手な児童に対しての個室が限られている。何室かあると、困り事の対処ができることが増えると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎朝掃除をし、子ども達が片付けやすいよう、玩具棚の位置を色分けして指定したり、イラストや文字を使って示している。	子ども達に合わせてその日ごとの変更が必要だが、行き届いてない日もある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		クールダウンする部屋を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		勤務の都合上、参加できなかった職員にも意見を聞いたり、情報を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		集計後に職員間で共有し、業務について振り返りと検討を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日のミーティングやケース会議で意見を出し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		外部評価は行っていない。必要があれば検討を考えていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎年開催されている「支援者研修」を受講し、職員の質の向上を図っている。	内部研修の内容や進め方については、より良い研修にする為協議しながら設定していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		保護者、相談支援事業所にお手紙を配布して公表している。	外部へ広く公表する方法を検討していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントシートの見直しを行い、児童の発達段階に合わせ使い分けができるようにした。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ケース会議を実施し、情報共有を行い計画を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		作成した計画の内容を職員に見せ、一緒に確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		統一されたアセスメントを用いて、保護者から聞き取りを行っている。	標準化されたツールが何かを明確にしている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		目標の設定は、子どもの状況や保護者の要望、職員の意見を踏まえて作成している。また、支援計画を誰が見ても内容がわかるよう心がけている。	「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」については、まだ未熟な部分もある為、質の向上に努めていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員一人一人が、1ヵ月のスケジュールのアイデアを出し合って立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		集団活動は同じ活動が続かないよう、事前に確認し設定している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			組み合わせているが、子どもによって偏りはでてしまう。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			活動内容は確認しているが、進め方や目的等、詳細まで確認できていない時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		翌日にミーティングを行い、前日の支援の振り返りと当日のスケジュールの確認をしている。	長期休暇時のミーティング時間の確保が難しく、通常時に比べ情報共有ができていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の記録をまとめ、支援の改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		新規利用児童は、利用開始3ヵ月くらいで一度モニタリングをしている。その後は、半年に一度モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		できそうかできなさそうかを聞いたり、何ならできそうか聞いたり提案し、自己選択ができるよう意識している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が必ず参画し、状況に応じて児童担当指導員も参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	担当者会議の際、学校の担任も同席して会議をする事もある。	地域の保健、医療機関との連携がない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	送迎時に月間予定や行事予定のお手紙を頂いたり、利用する児童のその日の様子を担任に聞いている。	学校と情報共有できる機会が少ない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	保護者、相談員から情報を聞いている。	児童発達支援を利用していた子どもの情報は、利用前に児童発達支援事業所にも聞いていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	移行支援会議に参加し、卒業時に事業所で使用していたコミュニケーションツールを保護者に提供した。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	スーパーバイズに相談できる体制は整えている。	職員がスーパーバイズと直接話しができる機会が少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現在交流はない。保護者からの要望に応じて検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		現在参加していない。今後検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時にお話したり、連絡帳を使ってやりとりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		ペアレント・トレーニングや研修を提供するための知識が不足している。今後、知識の向上を図っていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に保護者と読み合わせをして確認している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリング時に保護者に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	お電話や送迎時にお話するようにしている。その都度面談ではなく、モニタリングの機会で話し合うことが多い。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		現在父母の会やきょうだい同士の交流の機会 は設けていない。今後、要望に応じて検討し ていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	行事に参加する予定の児童にお手紙を渡すこ とはある。	HPIはあるが、SNSは使っていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時に個人情報取扱いに関する同意書を交 わしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		保護者からの要望を聞きながら、検討してい きたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		月に1回避難訓練（地震、津波、火事、不審 者）を実施し、年に1回、津波の避難訓練で 垂直避難を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		モニタリング時に保護者に服薬情報等を必ず 聞いている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	医師の指示書はないが、保護者からの対応を 聞いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		法人内の事業所とヒヤリハット内容の共有を 年に1度行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		内部研修の実施と、外部での研修に参加して いる。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		必要を要する時があるかを職員で話し合い考 えている。必要と判断した場合には、計画に 記載し記録を残している。	支援方法を検討し、危険な行動が見られなく なるにはどうしたらいいのかを常に考えてい く。